

おもいやりライト運動

光のコミュニケーションで交通事故を減らす

早めにつけよう おもいやりライト

<ロゴマーク>

【おもいやりライト運動とは】

夕方は、交通事故が多い時間帯です。

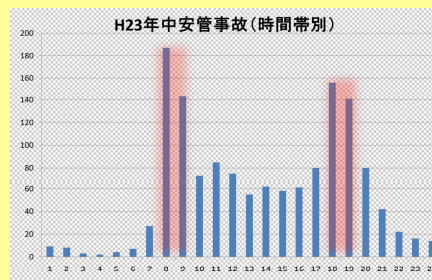
平成 23 年中に山形県内で発生した安管選任事業所の運転者が第一当事者となった交通事故（安管事故）の時間別件数は、表のとおりです。

特に、秋の夕焼けで輝く夕暮れは、ドライバーにとっても歩行者にとってもお互いが背景に溶け込み見えづらく、歩行者や車の接近に気づきにくい、そんな時間帯です。

この 16~18 時の時間帯に今までよりも早くライトを点灯すると、ドライバーは自らの視界を照らすだけでなく、歩行者に車の存在を知らせることができます。

ドライバー、歩行者、さらには自転車など多様な道路の利用者が、光のコミュニケーションによってお互いの存在を確認し合い、道路を利用し合うもの同士としてお互いをおもいやること。これを「おもいやりライト」と呼び、そういった新しいマナー行動が広まることを呼びかけています。これが「おもいやりライト運動」です。

「おもいやりライト」を点けるドライバーが増えること、そして「おもいやりライト」を知り・共感する歩行者や自転車利用者が増え、光のコミュニケーションが増幅していくことが、車と歩行者・自転車の交通事故削減につながると考えます。



【おもいやりライト運動の経緯】

- ◎ 2010 年秋 日産自動車は、新たな交通安全啓発イベントとしてランナーと連携し、黄色の T シャツに早期点灯などのメッセージを書き込んで皇居を1周するランニングを行ってアピール。このとき生まれたのが「おもいやりライト」という言葉です。
- ◎ 2011 年秋 アクションを広げるため、「横浜おもいやりライト大作戦」市民会議を開催。また、この運動をスマートドライバー全国集会で報告、全国に賛同を呼びかけ。
- ◎ 2012 年 1 月 山形スマドラメンバーが横浜での市民会議に参加し、全国の仲間と意見交換。

【今後の予定】

- ◎ 県安管では、この「おもいやりライト運動」を運転者や歩行者に知っていただくため、平成 24 年度の重点事業に繰り入れ、ロゴマークを作成・配布したり、広報したりする事業を展開する予定。
- ◎ また、この運動に賛同する事業所や団体等と連携し運動の浸透を図る予定。

※ おもいやりライト運営事務局 <http://www.omoiyari-light.com/>

※ 山形県安管協会 <http://yamagataken-ankan.or.jp/>

早めにつけよう おもいやりライト

見るためだけでなく、
見られるための光。

夕暮れ時、いつもより早めに
ヘッドライトをつける。
たったこれだけのアクションで、
交通事故はきっと減らせる。